

サブスコア

東海学生バスケットボール連盟

勝ちチーム						負けチーム					
愛知大学						静岡大学					
	名 前	リバウンド			アシスト		名 前	リバウンド			アシスト
		OF	DF	TOTAL				OF	DF	TOTAL	
4	松尾 聡子	6	5	11	6	4	池辺 史歩	1	3	4	4
5	壁谷 友紀恵	1	2	3	5	5	伊東 聡美	0	4	4	4
7	木下 実穂	2	1	3	1	6	栗田 友美	3	2	5	1
8	安井 未帆	0	1	1	4	7	大西 菜津絵	1	0	1	1
9	岩田 早代			0		8	松田 枝里香	0	1	1	1
10	野田 千恵	0	0	0	0	9	中條 夏海	2	3	5	1
11	塩野 絢加			0		10	鈴木 優			0	
13	萩本 直子	1	1	2	0	11	築地 澄恵			0	
14	蚊田 芽衣	0	0	0	0	12	五十川 志織			0	
15	長谷川 奈々			0		13	加藤 茉莉奈			0	
18	木村 志穂	0	0	0	0	14	吉原 弥里	0	0	0	0
21	山口 明子	2	3	5	4	15	塚本 綾香	2	6	8	1
				0		16	三木 千奈美			0	
				0		17	藤原 綾佳	2	4	6	2
				0		18	大石 綾乃			0	
				0		19				0	
				0		20				0	
				0		21				0	
チームリバウンド				5		チームリバウンド				7	

戦 評

第1Q、愛大は# 8安井の個人技と確実なアシストで得点を重ねる。対する静大は早いパス回しからチャンスを作り、積極的なドライブで愛大に追いつがる。22 - 18の愛大リードで第1Qを終える。

第2Q、愛大は変わらず# 8安井をオフェンスの起点として攻める。静大は# 17藤原がインサイドでねばりのプレイを見せる。しかし、愛大のディフェンスを崩すことが出来ず、得点が伸びない。43 - 27で前半終了。

第3Q、残り6分でコートに入った静大# 17藤原の力強いプレイがキーとなり、完全に流れをつかむ。一方の愛大は歯車がかみ合わず、得点が止まってしまい、47 - 47の同点に。静大が試合を振り出しに戻し、第3Q終了。

第4Q、互いに一進一退の攻防が続くが、愛大# 8安井の3Pが勝負所で決まる。残り30秒で静大がファールゲームに持ち込むが、ボールを奪うことが出来ず、71 - 65で愛大の勝利。

サブスコア

東海学生バスケットボール連盟

勝ちチーム						負けチーム					
中京大学A						中京大学B					
	名 前	リバウンド			アシスト		名 前	リバウンド			アシスト
		OF	DF	TOTAL				OF	DF	TOTAL	
4	船津 準平	4	4	8	2	4	大溝 貴広	1	3	4	0
5	上代 昂太郎	1	7	8	4	5	南 哲太	0	2	2	3
6	辻岡 敦	0	4	4	3	6	川岸 永志			0	
7	松澤 雄	1	3	4	3	7	奥間 彰	0	4	4	0
8	若山 憲之	4	2	6	0	8	山本 洋平	1	1	2	0
9	坂江 和也	0	1	1	0	9	深尾 俊			0	
10	浜崎 裕介	2	4	6	1	10	義原 康太朗	0	6	6	0
11	石橋 正基	2	1	3	0	11	川端 活弘			0	
12	徳盛 大輔	0	3	3	0	12	小林 大地			0	
13	林 大悟			0		13	道券 拓也			0	
14	国本 一哉			0		14	伏見 泰博			0	
15	中原 由貴	2	2	4	0	15	河合 俊宏	2	1	3	1
16	内藤 友仁			0		16	石川 雄得	0	6	6	4
17	稲田 健人	1	1	2	0	17	林 琢也			0	
18	近藤 健太	1	0	1	0	18	島立 和慶			0	
19	伊藤 聖也			0		19	藤原 裕			0	
20	島埜内 樹			0		20	岩瀬 一真			0	
21	石川 朝			0		21	吉川 将			0	
チームリバウンド				0		チームリバウンド				0	

戦 評

第1Q、同大学の対戦ということで、チームプレーがなかなか決まらず、個人技が目立つ。中京大A #12 徳盛が速攻を決めた直後、中京大B #16 石川が1対1で得点するなど、お互い一歩も譲らない。19 - 19の同点で終了。

第2Q、中京大Aはオフェンスリバウンドを多く取り、攻撃のチャンスを増やす。一方中京大Bは #4 大溝、#16 石川で攻めるが、両チームともシュート率が悪く、シーソーゲームの雰囲気は変わらず、38 - 33の中京大Aがリードして、前半終了。

第3Q、両チームともシュートがなかなか決まらなかったが、中京大Aが少しずつ決めていき、差を広げる。一方中京大Bは #15 高倉を起点にインサイドで攻めようとするも、中京大Aのインサイドヘルプが早く、うまくいかない。さらに中京大A #6 辻岡の個人技も冴え、64 - 48と差を広げる。

第4Q、残り7分、中京大Bが連続で得点し、追い上げムードに。しかし、ここでもシュートの確率が上がらない。さらに、残り5分、中京大Aはスティールからの速攻で中京大Bを突き放す。このまま点差は縮まらず、97 - 69で中京大Aの勝利。

サブスコア

東海学生バスケットボール連盟

勝ちチーム 常葉学園大学					負けチーム 中部学院大学						
	名 前	リバウンド			アシスト		名 前	リバウンド			アシスト
		OF	DF	TOTAL				OF	DF	TOTAL	
4	武藤 愛	2	4	6	2	4	吉村 紗季	2	2	4	2
5	海野 倫花			0		5	玉山 恵理	2	4	6	0
6	仁科 彩			0		6	加藤 早織	0	4	4	1
7	池谷 瑠美	1	1	2	1	7	秋月 美由紀	0	1	1	0
8	山本 尚実	0	1	1	0	8	加藤 優	0	0	0	0
9	本目 美保子			0		9	渡部 万理奈			0	
10	佐野 杏衣	0	1	1	0	10	水元 綾	3	5	8	1
11	山口 美穂子	5	4	9	0	11	佐竹 真里菜			0	
12	滝本 静	0	5	5	0	12	円山 智奈美	0	1	1	0
13				0		13	田中 花歩			0	
14				0		14	早川 優			0	
15				0		15	安藤 愛美			0	
16				0		16	水野 唯			0	
17				0		17	山北 公美	0	0	0	0
18				0		18	嶋内 美月	0	0	0	0
19				0		19				0	
20				0		20				0	
21				0		21				0	
チームリバウンド				1	チームリバウンド				3		

戦 評

序盤、常葉大が着実に得点を重ねる中、中部院大はミスが相次いで起こり、得点が出来ず、8 - 0とリードを許してしまう。ペースを作れない中部院大であったが、#5玉山のシュートからようやく立ち直り、一気に追いつく。12 - 12で第1Q終了。

第2Q、中部院大は第1Q終盤の勢いを失わず、開始1分で6得点。常葉大はたまたまタイムアウトを取るも、流れは変わらず、中部院大の攻守の前にミスを連発。中部院大はチャンスを生かし、点差を少しずつ広げていく。常葉大が2度目のタイムアウトを取るも、大きな展開はなく、37 - 29の中部院大リードで前半終了。

第3Q、中部院大はまたミスが目立ち、常葉大に反撃を許してしまう。中部院大はタイムアウトを取るが勢いは変わらず、残り1分半で逆転されてしまう。そのまま47 - 45常葉大リードで終了。

第4Q、互いに一步も譲らず、入れては入れられる、といった展開が続く。残り2分、常葉大が6点リードを奪う。タイムアウト後も中部院大は得点が決まらず、常葉大#7池谷に3Pを決められ、万事休す。最終スコア61 - 55で常葉大が勝利した。

サブスコア

東海学生バスケットボール連盟

勝ちチーム						負けチーム					
静岡産業大学						愛知学院大学					
	名 前	リバウンド			アシスト		名 前	リバウンド			アシスト
		OF	DF	TOTAL				OF	DF	TOTAL	
5	吉田 祐樹	0	0	0	2	4	苦瓜 太二			0	
31	山本 格士	1	2	3	0	5	原 敬悟	0	0	0	2
15	木下 翔太	0	0	0	2	6	中村 徹司			0	
29	山本 英生	0	0	0	0	7	岩井 良樹	0	3	3	0
72	竹田 幸司			0		8	岡田 惇			0	
9	小泉 匡史			0		9	赤座 誠哉	1	1	2	1
33	片桐 洋平			0		10	鈴木 健太	4	7	11	4
42	沼野 雄耶			0		11	松田 航瑠	1	0	1	0
13	仲里 淑	0	1	1	2	12	小林 由寛			0	
35	石塚 智崇			0		13	金海 基成			0	
32	小野 晃史	0	1	1	3	14	今井 竜之			0	
22	川上 広樹	0	3	3	1	15	松尾 侑弥	1	2	3	0
7	草谷 直之	1	3	4	3	16	丸川 弘晃	0	2	2	1
43	吉岡 龍也			0		17	松岡 辰			0	
2	黒川 正人			0		18	市岡 拓也			0	
1	王 磊	4	13	17	1	19	榊原 徹	0	0	0	0
				0		20	鈴木 将太			0	
				0		21				0	
チームリバウンド				3		チームリバウンド				4	
戦 評											
<p>第1Q、両チームボールが手につかず、攻守の切り替えしが激しい状況が続いた。途中、静産大が#1王を中心に攻め、落ち着きを取り戻す。愛院大はパスを多用した早い攻めで静産大#1王を上手くかわし得点する。ところが終盤に出場した静産大#15木下の巧みなディフェンスからのスティールで点差を広げにかかる。19-16と3点差で静産大がリードで第1Q終了。</p> <p>第2Q、愛院大#15松尾が#1王と相対し、簡単に攻めさせない。これにより#1王のミスが増え、愛院大は一気に流れを掴み、残り3分で逆転に成功する。第2は4点差で愛院大がリードする形で終了した。</p> <p>第3Q開始直後、静産大は1点差まで詰め寄り、残り8分で#32小野のスティールからの得点で逆転、31-30となる。そこからは乱戦が続き、互いにパスミスが目立つ。静産大はインサイドを固め、ブロックショットから速攻で点を奪い、残り3分で43-36でリードする。愛院大はここでタイムアウトを取り、一気に反撃。50-48と2点差まで縮まり終了。</p> <p>第4Q、静産大は気を引き締め、インサイドを徹底して守る。そして69-59と再び点差を広げる。愛院大も果敢に攻めるが、点差は縮まらない。そこから一進一退の攻防が続いたが、残り2分、3Pが欲しい愛院大だが、静産大が必死にそれを食い止め、シュートを決めさせない。そして試合終了。88-71で静産大の勝利。</p>											